

様式2 【生活様式などの無形のもの】

ふくしまの森林文化調査カード

県 HP公開 (可 ・ 否)

区分	1. 森づくり 4. 森と暮らし	2. 森の恵み 5. 森の文化財	3. 森と技 6. 森の風景
分野 (ふりがな)	(分野) ムササビ猟	(ふりがな) むささびりょう	
地域独特の呼び方	バンドリぶち	ばんどりぶち	
タイトル	バンドリぶち		
伝承地域	只見町		
由来	(いつ、どこで、誰によって起こり、どのようにして現在まで (いつまで) 伝えられてきたか) 小狩猟の一つとして行われてきたムササビ猟。 現在、ムササビは狩猟鳥獣の対象となっていないことから、ムササビ猟は行われていない。		
内容	(内容と共に、行事・祭りの場合は実施の時期、郷土料理の場合レシピなども) バンドリとはムササビのことで、バン (板) の様に飛ぶのでその名があるという。11月下旬から2月まではバンドリぶちで、この時期の毛皮が一番良質である。それよりも早い時期の毛皮は、アオッカワ (青っ皮) といって青みがかり、一方、遅くなると毛が抜けて価値が落ちる。昭和10年頃は高値で取引され、米1俵に相当し、貴重な収入源であった。 月夜になればその日はどんなことがあってもバンドリぶちは休まず、バンドリを追ってどんどん歩いた。猟に一番適した時期は、月齢13日から16、17日頃で、しかも月が一番高くなった時間帯である。この時期は、バンドリが尻尾を頭の上において、卵形に木にとまっているのがよく見える。 バンドリぶちは、山小屋に泊まることが多く、皮を剥いて肉を食べた。バンドリの肉は、寒中は脂気が無く臭みもないのでうまかった。残った肉は小屋で焼いて燻製にして、家へ持って帰って火棚に上げて置いた。その肉は軟らかかったので、夏になってもおいしく食べることが出来た。		
文化財等の指定状況	—		
問い合わせ先	只見町教育委員会 電話 0241-82-5320		

【継承活動を行っている方がいる場合】

個人	氏名 (ふりがな)	_____		※顔写真がありましたら、コピーか電子ファイルをご恵願います。
	性別・年齢	男 ・ 女	_____ 歳	
	住所・電話	〒 _____	_____ 電話	
	職業	_____		
団体	団体名 (ふりがな)	_____		
	代表者氏名 (ふりがな)	_____		
	団体の設立年月日	_____ 年 _____ 月 _____ 日	明治・大正・昭和・平成	
	問い合わせ先	_____ 電話		

【フリーフォーマット】



ムササビ（只見町 新国 勇氏）